

『互いを認め合い、すすんで学び続ける生徒の育成』

* 校区小中学校共通目標として設定

<重点目標>

「共有」・「協働」・「共育」を基盤とした教育活動の実践

<学校経営方針>

- ・「わかる」・「いえる」・「かかわりあう」授業の実践 (学力)
- ・「マナー」・「モラル」・「ルール」が守れる生徒の育成 (自己教育力)
- ・「つながり」を大切にできる生徒の育成 (人間力)

<具体的実践内容>

- 学力実態を捉えた、「わかる」・「いえる」・「かかわりあう」授業の実践
 - ・ 教員個々が資質を高め、工夫ある授業を展開する。
 - ・ 学習規律を基盤に、「習得」・「活用」・「深化」を意識した授業を展開する。
 - ・ 学力向上を目指した少人数・TT授業を展開する。
 - ・ 生徒の自主的な学習を支える活動を推進する。
- 「マナー」・「モラル」・「ルール」が守れる生徒の育成
 - ・ 道徳授業を要として、「道徳的判断力」や「認め合う意識」を育成する。
 - ・ 生徒実態に応じた人権学習を展開する。
 - ・ 生徒会活動をしっかりと支える。
 - ・ 「法令遵守の態度」の定着に向けた指導を継続的に展開する。
 - * 「生徒指導の三機能」を意識した実践
- 「つながり」を大切にできる生徒の育成
 - ・ 子ども同士がやさしくつながりあえる取組を展開する。
 - ・ 「困り」のある生徒への支援を実践する。
 - ・ 環境とのつながりを考え、「環境にやさしい取組」を実践していく。
 - ・ 地域とのつながりを考え、地域活動への積極的な参加をすすめる。